

廃材を利用したモノづくりに挑戦 ～認定こども園 石山保育園～

「そらべあ発電所」寄贈園で取り組んでいるエコアクションの紹介。今回は、岐阜県海津市にある石山保育園にインタビューしました。

同園では、廃材を利用した創作活動を積極的にを行っています。中でも特に力を入れているのが、牛乳パックと布を利用した鎧兜の製作。子どもたちはこの鎧兜をまわって、運動会で行列したり、地元の「たんぼほまつり武者行列」に参加したりしています。

「廃材を利用することで子どもの創造力が増すので、小さな容器、箱、紙袋などを園で保管し、作品づくりの時に利用しています」と、語るのは副園長の

平田弓子さん。鎧兜の見た目は難しそうですが、実は簡単に製作できるそうです。また、改良に改良を重ね、折り畳みができるようにして、園児の人数分のカブトを園で保管できるようにしたとのこと。

「どの園でも廃材を利用した工作は実施されていると思いますが、不要になった物でも工夫次第で生まれ変わる面白さを伝えていくことで、エコ活動にもつながると考えています」(平田さん)。

こうしたエコアクションを続けていくことが、子どもたちの未来に、より良い環境を残すことにつながってほしいものです。



いらなくなった物も
生まれ変わってアート作品に。



廃材を使った鎧兜でお祭りに参加。

そらべあ基金
事務局の
つぶやき

「パリ協定」はそらべあの涙を止められるでしょうか？

世界196の国と地域が参加した国際会議(COP21)において、2020年以降の地球温暖化対策の枠組みを取り決めた「パリ協定」。しかし、アメリカ大統領がパリ協定からの離脱を表明したことが、そらべあ兄弟を悲しめています。

パリ協定で日本は「2030年までに、2013年比で温室効果ガスの排出を26%削減する」という目標を掲げています。これを達成するために、再生可能エネルギー(水力を除く)の利用を現在の3.2%(2014年実績)から22~24%まで拡大すると表明しました。

そらべあ基金では2008年から再生可能エネルギーの普及啓発活動を行ってききましたが、これからも「2050年化石燃料ゼロ化」という世界の目標に向けて、また、そらとべあがお母さんと一緒に暮らせる日を目指して活動を続けていきます。



そらべあサポーターズクラブ

プレミアムサポーター：ソニー損害保険(株)
オフィシャルサポーター：ソニー生命保険(株)、(株)Forchile
サポーター：(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、(株)毎日新聞社
応援団：6社
個人・ファミリーサポーター：32名
(2017年6月30日現在)



読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。

そらべあ便り vol.31

2017年6月発行
編集：青木一夫
デザイン：草薙聡子

NPO 法人そらべあ基金
〒105-0004
東京都港区新橋2-5-6
大村ビル8F

TEL：03-3504-8166
FAX：03-5157-3178
http://www.solarbear.jp

そらべあ便り

Sorabear Newsletter | Vol.31

おひさまサンサン
電力モリモリ
ソーラー発電



©Shinzi Katoh

www.solarbear.jp

REPORT

58基目のそらべあ発電所が完成 ～大阪府四條畷市 なわてすみれ園～

3月22日(水)、大阪府四條畷(しじょうなわて)市にある「社会福祉法人北出福祉会なわてすみれ園」に58基目の太陽光発電設備「そらべあ発電所」が完成し、その記念式典が行われました。

ソニー損害保険(株)の協賛で寄贈された今回のそらべあ発電所。式典には「なわてすみれ園」に通う5歳児22名と先生方、理事をはじめ、全国最年少28歳で同市の市長に当選して注目を集めた東修平様にも出席していただきました。東市長からは、子どもたちに環境の大切さを優しくお話していただき、さらに、電気をつくる大変さを園児に体験してもらう「手回し発電体験」もお手伝いいただきました。

また、同園の中山園長からは「そらとべあがまたお母さんに会えるよう、物を大切に、電気の無駄使いはやめようね」と話していただき、子どもたちも元気に約束してくれました。

記念撮影が終わり、そらべあ園児たちのふれあいタイムになると、年長さんだけでなく、式典中、お昼寝をしていた年少さんたちも起きてきて、そらとべあと一緒に仲良く遊んでくれました。式典に参加してくれた園児たちはもちろん、将来、なわてすみれ園に入園してくる子どもたちも、そらべあ

四條畷市長 東周平様のごあいさつ

発電所の設置をきっかけに、環境について少しでも考えてもらえたらうれしいです。なわてすみれ園の皆さん、ソニー損害保険(株)の皆さん、東市長、関係者のみなさん、ありがとうございました。



園児たちの代表が手回し発電に挑戦

大阪府四條畷市
なわてすみれ園



REPORT

「そらべあ環境ワークショップ」実施 ～東京都町田市こうさぎ保育園～

4月18日(火)、そらべあ基金の山際康之理事が学長を務める東京造形大学との協働で実施している環境教育ワークショップが、東京都町田市立こうさぎ保育園で開催されました。地球温暖化問題を子どもたちにわかりやすく伝えるため、大学生が毎回工夫を凝らして内容を企画し、舞台上で使用する人形や小道具も手作りし、練習を重ねて本番を迎えます。この日は早朝から春の嵐でしたが、ワークショップが始まる頃には、元気いっぱい外遊びができるほどの晴天となりました。その「外遊び」が今回のキーワードです。

そらとべあの人形劇のあと、太陽、風、花、木の精が登場して、みんなにできることは何かを問いかけます。エアコンも電灯も使わず、楽しい事、そ

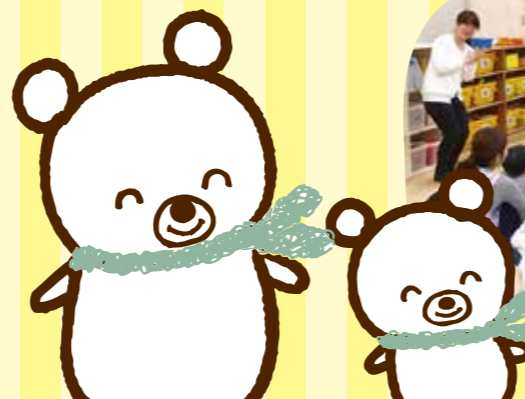
れは、「外遊び!」ということで、最後に「外遊び」の替え歌を大合唱。すると、割れていた氷の大地が元に戻り、「そら」と「べあ」はお母さんと再会することができました。これからも、いろいろなエコアクションにチャレンジしてもらえたら嬉しいです。



そらべあの人形も、
コスチュームも学生たちの手づくり。



人形劇の後は子どもたちと替え歌で大合唱。



REPORT

「学びのフェス2017春」に出展 ～子どもたちに出張環境授業&ワークショップを実施～

3月29日(水)、東京都千代田区の科学技術館で開催された「学びのフェス2017春」(毎日新聞・毎日小学生新聞主催)にそらべあ基金が出展。幼稚園児から小学6年生までの元気な子どもたち計40名が参加してくれました。

授業が始まって、みんなに「地球温暖化って知ってるかな?」と質問したところ、「CO₂が地球を暖かくすること」と、正しく答えてくれた子どもが何人もいました。次に、三択で答えるクイズに答えてもらいながら、「このまま地球の気温が上がっていくと日本の砂浜の90%がなくなるかもしれないよ」とい

う話をすると、子どもたちだけでなく、保護者のみなさんも驚いていたようです。

クイズの後は、ソーラーパネルで発電してLEDランプが点灯する可愛い「オリジナル・ソーラーランプ」の工作に挑戦。カラフルなマスキングテープを使って、自分だけのデザインのランプを楽しそうに完成させていきました。

温暖化が私たちの生活に与える影響や、温暖化防止には再生可能エネルギーが役立つことなどを、少しでもわかってもらえたらうれしいです。参加してくれた子どもたち、保護者のみなさん、本当にありがとうございました。



クイズはちょっと難しかったけど、
みんな果敢にチャレンジ!



一人ひとり個性的なデザインのソーラーランプを作って、
おみやげにおうちへ持ち帰りました。

sorabear
 そらべあ
 calendar
 2017



©Shinzi Katoh

7

8

9

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30